

日本発ドイツ便り : Ebbelwei

フランクフルトに半年も住んでいたのに、残念なことに、フランクフルトの観光名所をあんまりよく知らないのと同じく、試したことのない「名物」があります。

「試してみようかな？」と思ったのは、こんなものを見つけたから。



Maibaum (マイバウム : 直訳すると「5月の木」) 樹木に宿る精霊が病気や悪霊から家や家畜を守り、太陽と光と雨を招き、豊饒と繁栄をもたらす。というドイツの民間伝承・樹木信仰から始まった習慣。とのことで、5月は各地で Maibaum を立てて、その周りで Maifest (マイフェスト : 五月祭り) など、お祭りがあるのです。このフランクフルトでもちょうど、Maifest + Weinfest (5月祭+ワイン祭) 中でした。



フランクフルト名物の飲み物って何だと思いますか？
答えはこの樽の中に詰まっています。

共通語では Apfelwein (アプフェルヴァイン: アップルワイン)。それを、フランクフルトのある Hessen (ヘッセン州) の方言では、Ebbelwei (エッベルヴァイ) と発音します。



まずは専門店らしきレストランに突入！もちろん外で。
さっぱりどんなものなのかイメージできなかったので、お店の人に「Ebbelwei て甘いの？」と聞くと、
Nein! (ナイン! NO!) とのお返事。「まあ試してみてください。」と言われてとりあえず注文。



ちょっと遅めの昼ごはんを兼ねて。
パラソルの下から Römer (レーマー広場) なんぞ眺めながら待っていると



Ebbelwei 到着。

伝統的に、こういうグラスに入って出てくるようです。リンゴの甘い香りを予想していましたが、そうではなく。飲んでみると、すっぱいリンゴのような爽やかな酸味があるものの、甘味はまったくなし。よく分からないけど、飲み進んでいくと、「おいしいかも😊」と。アルコール度数が5.5%程度なので、フランクフルトでは、ビール感覚で飲まれているそうです。(だからフランクフルトはビールが高めなのか?)



これはコースター。



お供には、Spargel (シュパーゲル: アスパラガス) と Neukartoffel (ノイカルトツフェル: 新じゃが) を。フランクフルトに寄るのはたいてい帰国の前日なので、ドイツでいただく今年最後の Spargel です。



Ebbelwei 片手に、新鮮な Spargel を頂きつつ、Römer なんぞ合間に眺めていると、ヴァイオリンの生演奏が始まりました。😊いわゆる Straßenmusiker (シュトラーセンムジカー: 日本だったら、ストリートミュージシャンといふのかな)

石畳によく響くのに加え、なかなかいい演奏で、偶然にも私の好きな曲を次々演奏してくれたので、ご機嫌でした。(ちゃんと感謝のチップをあげてきました)

本当は、遅めの昼食は、軽めに Spargel。そして夕食はいつものステーキを！なんて企んでいたのですが、Ebbelwei にすっかり酔っぱらってしまって、フラフラとホテルに戻る羽目になってしまいました。(涙)

街の中には、Ebbelwei のファンショップなんてお店もありました。そういえば、以前、クリスマス市で、Apfelglühwein (アップルグリューワイン) なるものを見つけて驚いたのも、思い返せばフランクフルトだったかもしれません。



フランクフルトには、土日祝日限定ではありますが、Ebbelwei 片手 (子供向けには、アップルジュース) に市内の観光地を路面電車一周という、その名も Ebbelwei-Expressⁱなんていう観光列車もあるんです。(VGF (フランクフルト市交通公社) が運営しています) 残念ながら乗ったことはないですが、想像するだけでご機嫌〜。な感じですね。

Frankfurt に立ち寄る機会があれば、Ebbelwei をぜひお試しください！



ⁱ <http://www.ebbelwei-express.com/> もし興味があればご覧になってみてください。日本語のホームページもあるようです。ヘッセン方言も勉強できるように、面白いですよ。

*Ebbelwei-Express の写真提供。Vielen Dank, Herr TAKANO!